

**第108回**  
**日本シネアンジオ研究会**  
**プログラム**

◇日 時：平成23年2月19(土) 8:50～18:00

◇会 場：東京コンファレンスセンター品川

〒108-0075 東京都港区港南1-9-36アリア品川

TEL：03-6717-7000（代表） FAX：03-6717-7001

◇会 長：我 妻 賢 司

東邦大学医療センター大森病院 心血管インターベンション室

〒143-8541 東京都大田区大森西6-11-1

TEL：03-3762-4151（代）

◇参加費：2,000円（企業含）コ・メディカル：1,000円

— 事務局 —

杏林大学医学部第二内科学教室 吉野秀朗

— 共 催 —

第108回日本シネアンジオ研究会

バイエル薬品株式会社

※本研究会は循環器専門医認定更新研修集会として指定されております（1単位）  
研究会ホームページ（<http://www.cine-angio.jp>）

# ご 案 内

## 1. 受 付

- 1) 日 時: 2月19日(土) 8:30~
- 2) 場 所: 東京コンファレンスセンター・品川 5F ロビー
- 3) 参加費: 2,000円、コメディカル:1,000円  
(引換に名札兼領収書をお渡しします。)

## 2. 座長・発表者へのお願い

発表時間	一 般 演 題	口 演 7分	質 疑 応 答 3分
	シ ン ポ ジ ウ ム	口 演 12分	総 合 討 論 15分

### 1) 座 長

一般演題各セッションの質疑応答は1演題3分を目安としますが、ご担当いただくセッション内で時間配分は座長一任と致します。セッション毎の終了時刻を厳守下さいますようお願い致します。

### 2) 発表者

PC受付は8:30より 5F ロビーにて行います。

受付はスタッフの指示に従って、発表予定時刻の30分前迄に済ませてください。

演台に液晶モニタ、マウス、キーボードが設置されておりますので、ご自身ご操作をお願い致します。

研究会当日は、会場にご用意するパソコンはWindows XPです。

Windows Vista、Windows 7 およびMacintosh の場合、および動画使用の場合には必ずご自身のパソコンをご持参ください。

AC電源および接続コネクタ(Dsub-15ピン・3段)のアダプターを必ずご持参下さい。

アプリケーションはWindows版のPowerPoint 2007まで、Macintosh版のPowerPoint 2004まで。(Mac版について互換性の関係で必ずOS Xで作成して下さい)。動画データ等の参照ファイルは全て同じフォルダに入れてください。(PPTへの貼り付けリンクの確認もお願い致します)。

フォントはOS標準のもののみ対応いたします。

画像の解像度はXGA(1024×768)。事前に機種をお知らせ下さい。

バックアップメディアも持参されることをお勧めします。

発表時間は一般演題7分、シンポジウム12分 としますので、時間厳守をお願いします。

## 3. 常任幹事会(食事を用意しております)

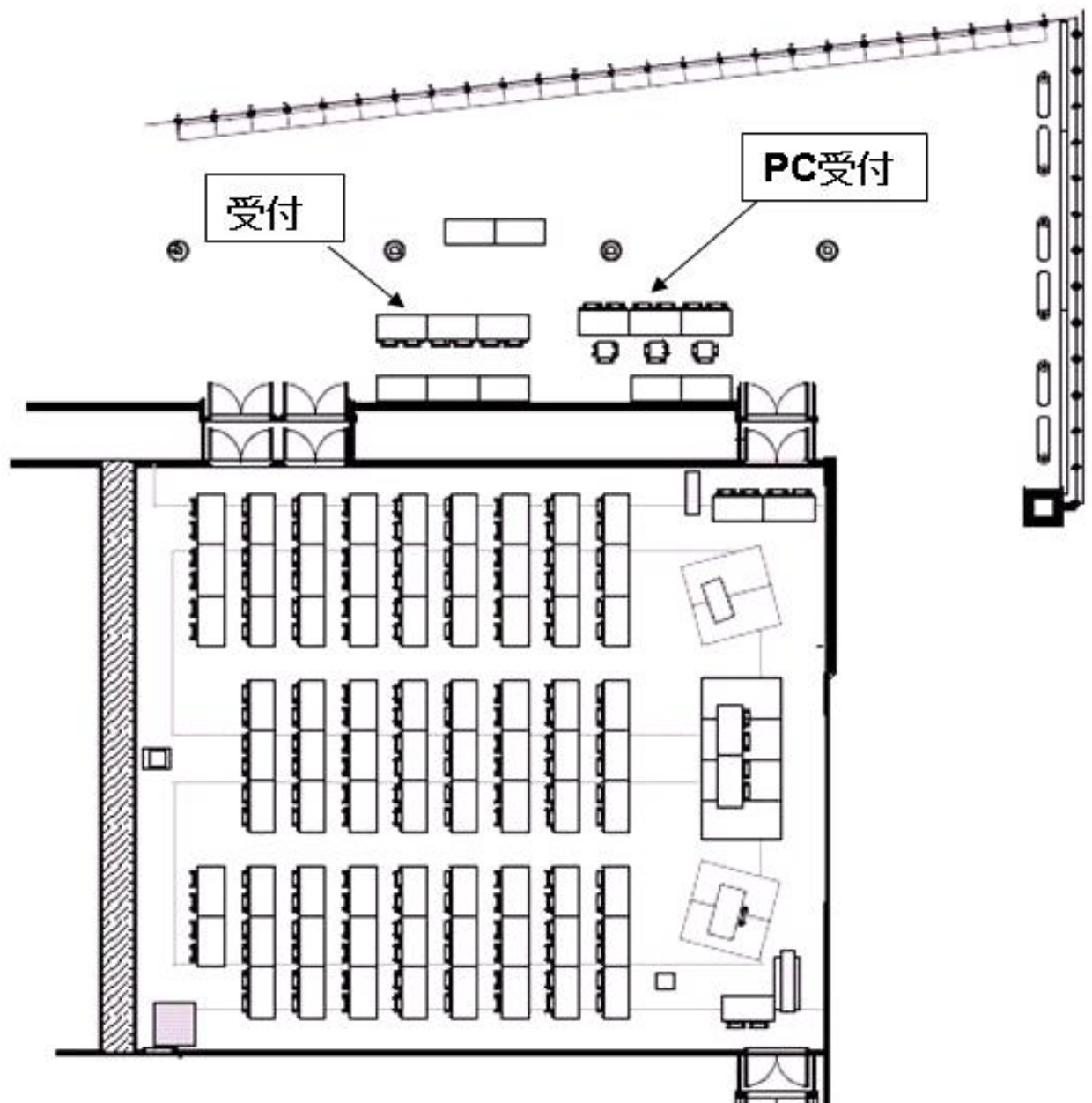
- 日 時 : 2月19日(土) 12:00~12:40  
会 場 : 東京コンファレンスセンター・品川 4F 「402号室」

## 4. 幹 事 会(食事を用意しております)

- 日 時 : 2月19日(土) 12:40~12:55  
会 場 : 東京コンファレンスセンター・品川 4F 「401号室」

	5F ホール	4F (401・402号室)
	8:30 開場	
9:00	8:50～8:55 開会の辞	
	8:55～9:55 一般演題Ⅰ 「複雑病変・合併症」	
10:00	9:55～10:35 一般演題Ⅱ 「大動脈・末梢血管・肺血管疾患」	
	ブレイク	
11:00	10:50～12:00 一般演題Ⅲ 「IVUS・内視鏡・OCT・CT」	
12:00	12:00～12:55 ランチタイム	12:00～12:40 「402 会議室」：常任幹事会
13:00	13:00～13:15 事務局連絡	12:40～12:55 「401 会議室」：幹事会
	13:20～14:20 特別講演 湘南鎌倉総合病院 齋藤 滋 先生	
14:00	ブレイク	
15:00	14:30～15:35 シンポジウム 「第二世代DES時代における複雑病変の 治療戦略」	
16:00	15:35～16:45 一般演題Ⅳ 「AMI・ステント血栓症」	
17:00	16:45～17:55 一般演題Ⅴ 「VSA・冠微小循環障害・その他」	
	17:55～18:00 閉会の辞	

# 東京コンファレンスセンター・品川 5Fホール



**開会の辞****8:50～8:55**

東邦大学医療センター大森病院

心血管インターベンション室

我妻 賢司

**第 1 セッション****複雑病変・合併症****8:55～9:55****(口演 7分)**

座長

国立病院機構災害医療センター 循環器科  
青森県立中央病院 循環器科足利 貴志  
吉町 文暢**1. 高度石灰化の3枝+LMT病変に対し、Trans radial Rotablatorにて完全血行再建し得た1例**

東邦大学医療センター大森病院 心血管インターベンション室 藤井悠一郎 他

**2. 右冠動脈にtandem lesionを認め、近位部からステント留置を施行した1例**

国立病院機構災害医療センター 循環器科 関川 雅裕 他

**3. One Person One Guiding Catheter (1P1G) techniqueを使用した1症例**

青森県立中央病院 循環器科 吉町 文暢 他

**4. PCI時に2度のstent脱落を経験した1例**

北海道循環器病院 循環器科 平山 康高 他

**5. stent留置後の後拡張後にcoronary ruptureを来たし、Graft Master挿入にてbail outに成功した1症例**

大阪警察病院 循環器科 松尾 浩志 他

**6. 各種検査では虚血を証明できなかったものの、FFRで虚血が証明されたLMT病変の1症例**

大阪警察病院 循環器科 赤澤 康裕 他

**第 2 セッション****大動脈・末梢血管・肺血管疾患****9:55～10:35****(口演 7分)**

座長

イムス葛飾ハートセンター 循環器科  
榊原記念病院 循環器科榊原 雅義  
高山 守正**7. IVCフィルター留置後も再燃する慢性肺塞栓症に対し、重複下大静脈側枝へのフィルター追加が奏効した1例**

(医)杉村会杉村病院 心臓血管センター 松島 吉宏 他

8. 新しいCASシステム(FilterWireEZ+Wall or PRECISE stent)の経験 -4症例-

(財)三友堂病院

循環器科

川島 理 他

9. Stanford A型急性大動脈解離の手術後、短期間に拡張型心筋症様の心機能低下を呈した1例

名寄市立総合病院

循環器内科

島村 浩平 他

10. 左下肢に間欠性跛行を認め、判定に苦慮する病変を腸骨動脈に認めた症例

尼崎中央病院

循環器科

小松 誠 他

- ブレイク 10:35~10:50 -

第3セッション

IVUS・内視鏡・OCT・CT

10:50~12:00

(口演 7分)

座長

大阪警察病院

循環器科

上田 恭敬

日本大学医学部附属板橋病院

循環器内科

高山 忠輝

11. 遠隔期にOCTで観察したCypher stentとTaxus Express stentの新生内膜増殖程度の違い

秋田県成人病医療センター

循環器科

佐藤 匡也 他

12. 左前下行枝DES留置後の冠動脈瘤をvein-covered stentで閉鎖し、その所見をOCTで観察し得た1例

イムス葛飾ハートセンター

循環器科

宮澤 拓也 他

13. 薬剤溶出性ステント留置後の冠動脈瘤における画像評価

~SES、PES、EES留置後のpositive remodelingのIVUS、OCTによる評価~

日本大学医学部内科学系

循環器内科学分野

北野 大輔 他

14. 心タンポナーデの原因診断に、64列MDCTが有用であった1例

武蔵野赤十字病院

循環器科

原 信博 他

15. 前拡張により生じた解離の部分にTAXUS Expressを留置し、1年後にlate incomplete stent appositionを認めた1例

東京警察病院

循環器科

鈴木 将敏 他

16. IVUS、OCT、血管内視鏡、DCAを施行し得たエベロリムス溶出ステント再狭窄の1例

心臓血管研究所付属病院

循環器科

小山 雄広 他

17. 動脈硬化性病変の同定に血管内視鏡が有用であった症例

尼崎中央病院

循環器科

今井 敦子 他

— Lunch Time 12:00~12:55 —

常任幹事会(4階 402号室) 12:00~12:40

幹事会(4階 401号室) 12:40~12:55

事務局連絡

13:00~13:15

杏林大学医学部

第二内科

吉野 秀朗

特別講演

13:20~14:20

座長

東邦大学医療センター大森病院 心血管インターベンション室

我妻 賢司

『日本の冠動脈カテーテル治療が進むべき道』

-Dr.Radialistの経験から-

湘南鎌倉総合病院 循環器科

齋藤 滋先生

— ブレイク 14:20~14:30 —

シンポジウム 第2世代DES時代における複雑病変の治療戦略

14:30~15:35

(口演 12分)

座長

平塚共済病院

心臓センター循環器科

丹羽 明博

済生会横浜市東部病院

循環器内科

村松 俊哉

S-1. 第二世代DES全盛期にも症例・病変によっては第一世代DESも有効である

東京都立広尾病院

循環器科

小宮山浩大 他

S-2. 第2世代DESの当院における使用経験と臨床成績

済生会横浜市東部病院

循環器内科

荒木 基晴 他

### S-3. Mini crush stentingを用いた分岐部病変への治療戦略:SES vs PES vs EES

東邦大学医療センター大森病院 心血管インターベンション室 内田 靖人 他

### S-4 第二世代のDES時代における治療戦略・DESの使い分けについて

秋田県成人病医療センター 循環器科 佐藤 匡也 他

#### — 総合討論(15分)—

<b>第4セッション</b>	<b>AMI・ステント血栓症</b>	<b>15:35~16:45</b>
----------------	--------------------	--------------------

(口演 7分)

座長 横浜市立大学附属市民総合医療センター 心臓血管センター内科 木村 一雄  
済生会横浜市東部病院 循環器内科 塚原 玲子

#### 18. 高度石灰化病変を伴う右冠動脈に対するEndeavorステント留置後の遅発性ステント血栓症例の病理学所見

獨協医科大学 心臓・血管内科 米田 秀一 他

#### 19. BMS留置8年後&13年後に超遅発性ステント内血栓性閉塞(VLST)を惹起した急性冠症候群の2例

(財)三友堂病院 循環器科 阿部 秀樹 他

#### 20. 急性心筋梗塞を発症した冠動脈瘤の1例

小田原循環器病院 循環器内科 山崎 健司 他

#### 21. 吸引カテーテル経由の造影で病変部位を同定し、静脈グラフトへのバルーン拡張を回避し得たバイパス後急性心筋梗塞の1例

済生会宇都宮病院 循環器内科 八木 崇 他

#### 22. 急性心筋梗塞の再灌流療法の際に急性ステント血栓症を合併し治療し難渋した1例

済生会横浜市東部病院 循環器内科 高間 拓郎 他

#### 23. 術後7年半で大伏在静脈グラフトの血栓により固有冠動脈の塞栓症を発症した1例

平塚共済病院 心臓センター循環器科 小林 一士 他

#### 24. 発症に冠攣縮が関与したと考えられるAMIでステント再狭窄に対しCutting balloonが有効であった1例

昭和大学藤が丘病院 循環器内科 久野 越史 他



(口演 7分)

座長	昭和大学藤が丘病院 杏林大学医学部	循環器内科 第二内科	嶽山 陽一 吉野 秀朗
----	----------------------	---------------	----------------

25. 劇症タコツボ型心筋症例における冠微小循環  
～急性期、亜急性期におけるIMR(Index of Microcirculatory Resistance)の検討～

獨協医科大学	心臓・血管内科	西野 節 他
--------	---------	--------

26. 冠動静脈瘻を伴った右冠動脈巨大拡張症の1例

(財)三友堂病院	循環器科	川島 理 他
----------	------	--------

27. VSA 重症度判定の試み

愛媛県立新居浜病院	循環器科	末田 章三 他
-----------	------	---------

28. 冠攣縮性狭心症におけるThallium washout rateの有用性

愛媛県立新居浜病院	循環器科	河野 浩明 他
-----------	------	---------

29. 造影剤アレルギーによりKounis syndromeを呈した2症例

心臓センター榊原病院	循環器内科	飯野 譲 他
------------	-------	--------

30. 硝酸薬の選択的投与により対側冠動脈からの側副血行路が消失した1症例

国立循環器病研究センター	CCU	山根 崇史 他
--------------	-----	---------

31. 巨大冠動脈瘤、冠動脈-肺動脈瘻に対し、冠動脈瘤切除及び冠動脈バイパス術を施行した  
1症例

イムス葛飾ハートセンター	心臓血管外科	鈴木 伸章 他
--------------	--------	---------

東邦大学医療センター大森病院	心血管インターベンション室	我妻 賢司 他
----------------	---------------	---------